

CITY OF YOKOHAMA

LED防犯灯の包括的維持管理

令和7年3月26日 市民局地域防犯支援課



明日をひらく都市
OPEN X PIONEER
2025年3月26日



住宅地における夜間の**地域住民の**
歩行の安全の確保と、犯罪の防止
を図るため、
公衆の用に供する道路を照明する場所に
横浜市が設置、所有及び維持管理する照明灯

その他、屋外照明には、道路照明灯、商店街灯、公園灯等がある

LED防犯灯の現状

18万灯

◆電柱共架型 16万灯

◆独立柱（鋼管ポール）型 2万灯



防犯灯を所有する経緯

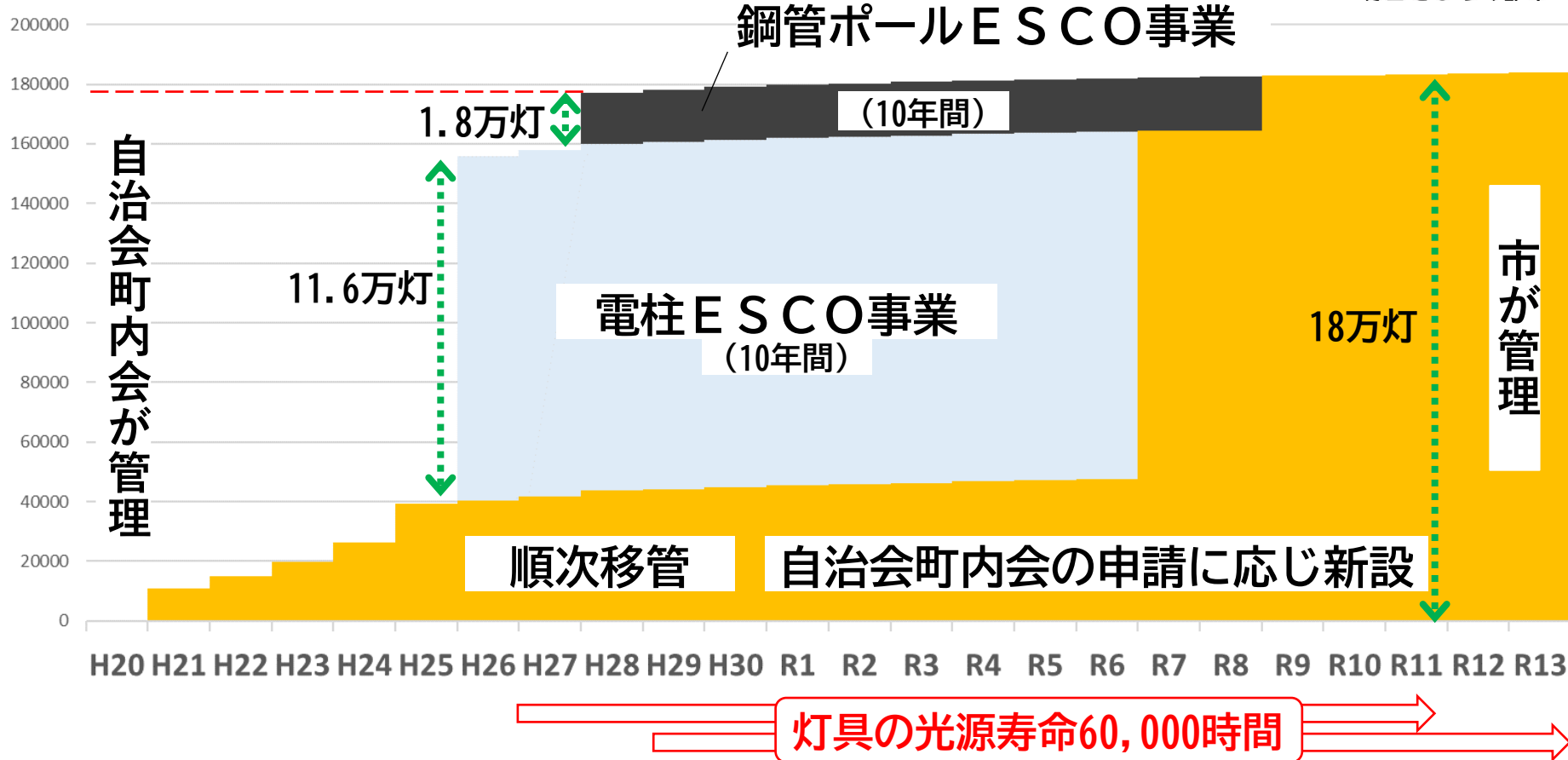
明日をひらく都市
OPEN × PIONEER

～H20(2008)	自治会町内会が管理
H21(2009)～	順次LED化し、本市管理開始
H26(2014)	電柱共架型 ESCO事業（11.6万灯）
H28(2016)	独立柱（鋼管ポール）型 ESCO事業（1.8万灯） ※既存ポール（建柱年・構造不明）も移管
R6(2024) R8(2026)	各ESCO事業終了

- ・ 灯具の光源寿命を考慮し、ESCO事業終了以降の維持管理手法を検討中
- ・ 日常の見守りは、現在も自治会町内会にご協力いただいている

市管理防犯灯の推移

明日をひらく都市

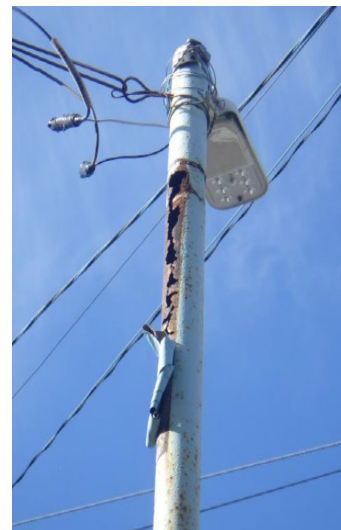


◆事業費の課題

- ・ 維持管理費の増加
- ・ ESCO事業で一斉に整備した灯具の交換時期の偏りに伴う財政負担の偏り

◆維持管理の課題

- ・ 劣化したポールの撤去等
- ・ 事故や緊急時の対応



事業手法検討のためのサウンディング型市場調査の実施

明日をひらく都市
OPEN X PIONEER
YOKOHAMA

- ①令和5年10月 個別・非公開（7者参加）
- ②令和6年6月 グループ対話（11名参加）
- ③令和6年7月 個別・非公開（8者参加）

主な意見

事業対象	市内一円、全て(18万灯)の防犯灯を一括管理としたい
事業期間	灯具の一括更新期間(1～3年)も含めて13年程度が適当
手 法	包括的委託契約やPFI契約で実施可能
事業内容	維持管理(通報受付、維持管理システム運営、灯具更新、不具合修理等、灯具の設置・撤去・交換・移設、鋼管ポールの設置及び撤去 等)を包括的に実施

従来手法の維持管理

6 か月
程度

契約締
結後準
備期間

13年

- ・不具合対応等の保守
- ・その他設置維持管理

1~3
年

灯具の
一斉更新

次期の事業

契約締
結日

準備
期間

維持管理

本市で想定する、事業手法の比較

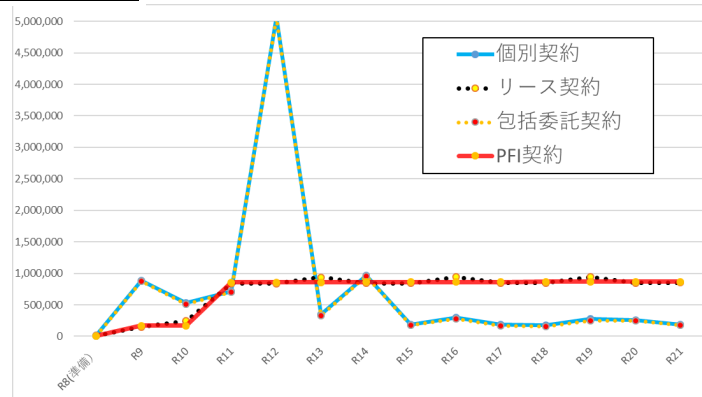
明日をひらく都市

内容	今まで←		→これから		
	現行	個別契約	メンテナンス付 リース契約	包括委託契約	P F I 契約
①全体のプランニング	—				
②通報受付	—				
③作業情報の更新	—				
④灯具の更新及び維持					
⑤電線等灯具以外の不具合、移設・向き変更・ポール撤去、緊急時等の対応					
⑥鋼管ポール定期点検	(一)				
⑦鋼管ポールの建替え及び新規設置工事					
VFM算定	—	—	2.3%	1.8%	3.7%

全ての内容をまとめた事業が可能
⇒ P F I 契約

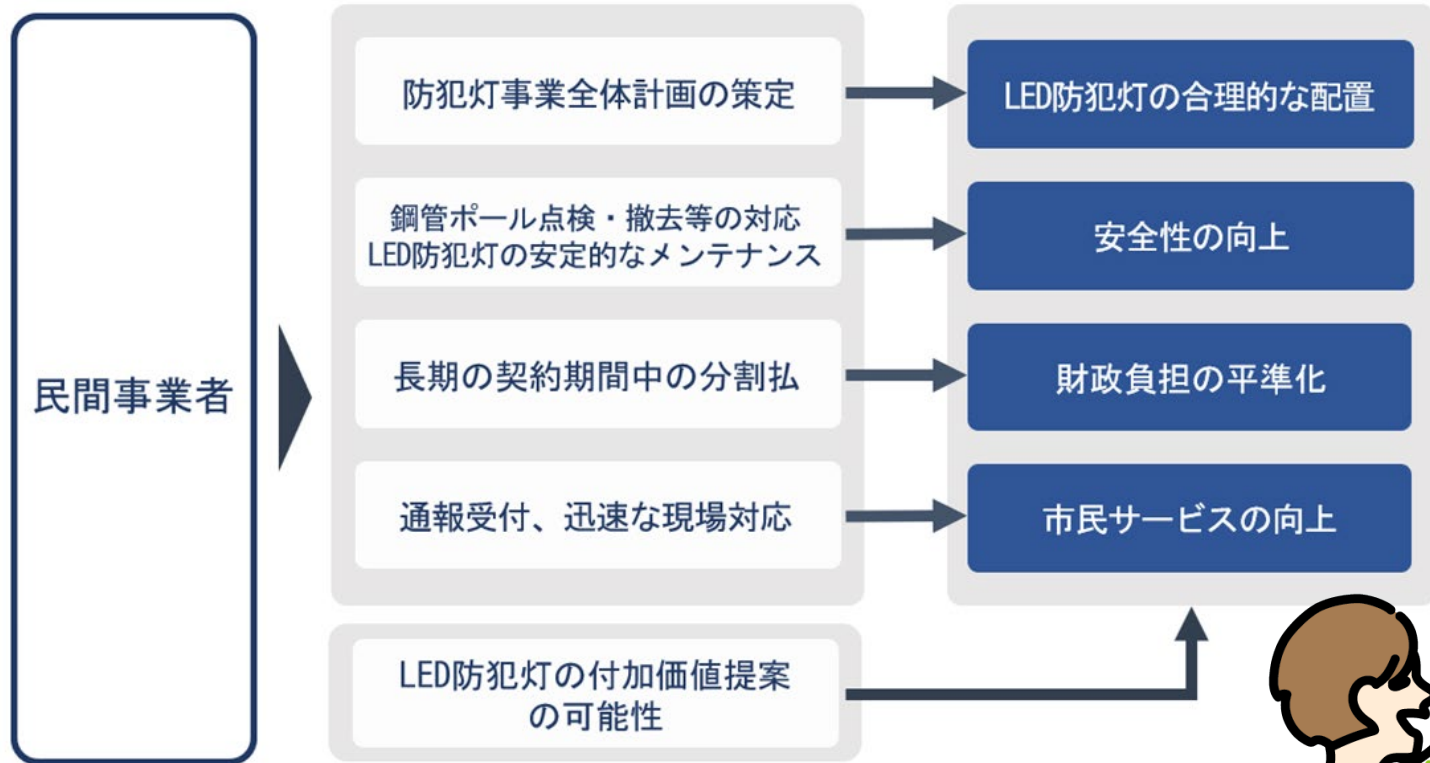
財政負担の平準化が可能
⇒ P F I 契約

PFI事業を基本として
検討を進めます



事業イメージ

明日をひらく都市
OPEN × PIONEER
YOKOHAMA



「誰もが安心して暮らせるまち」の実現



R7.3 ロングリストからショートリストに移行

R7(2025)年度～

- ・ 特定事業選定や公募に向けた準備・手続き

R9(2027)年度

- ・ 契約締結、事前準備

R10(2028)年度

- ・ 維持管理開始